

日本文藝研究

第六十卷 第三・四号

季刊

『栄花物語』の描く万寿二年……………福長進…1

西鶴の武人形象にみる歴史認識……………森田雅也…23
——その敗将溢美の方法をめぐる(上)——

紀海音の浄瑠璃作者引退

に関する一考察……………石田賢司…43

——兄油煙斎貞柳との和解をめぐる——

関西学院大学日本文学会

前 号 目 次

義仲北陸篇七章の考察	武久 堅	1
——「火燵城合戦」から「篠原合戦」まで——		
上田秋成の城崎行	村田 俊 人	21
——『雨月物語』所縁の地の探訪——		
宮本文学の源流	中 野 登 志 美	39
——改稿前の「(川)三部作」から「新しい小説」へ——		
富士谷御杖の後撰集註釈(承前)	但 馬 貴 則	59
——卷十五、十六への記述に見える歌論的要素について——		

編集後記

第六十巻三・四号をお届けする。会員外の投稿も含め今号は三本の論文を掲載。書物の話を一つ。昨秋没後十年を記念して出版された『堀田善衛 上海日記』は、若き日のこの文学者が終戦前後の混迷を深める上海の街で、己の生きる道を求めている魂の彷徨を綴った誠実の書だ。浅ハカでケチな学識や経験よりも、まめやかにして最も実際の智慧を知ることの方が人間としての根を肥らせるのだという言葉は胸を打つ。彼の文学の生命をかけてのこうした確信の継承こそ、いまの私たちがなすべきことではないのか。（大橋）

投稿・執筆について

- 一、執筆資格をもつものは、日本文学会会員、『日本文藝研究』購読会員の他、編集委員会が認めたものとする。
- 二、原稿内容は日本文学および日本語を主な対象とし、未公刊のものにかぎる。
- 三、研究論文は四百字詰め原稿用紙換算で三十五枚を目安とする。研究論文以外の原稿については編集委員会に問い合わせる。
- 四、投稿は随時受け付ける。
- 五、原稿の採否は、編集委員会が決定する。
- 六、本誌に掲載された論文などの著作権は著者に帰属するものとする。ただし、関西学院大学日本文学会は、本誌に掲載された原稿を電子化または複製の形態などで公開する権利を有するものとする。

二〇〇二年十月

関西学院大学日本文学会

二〇〇九年三月五日 印刷

二〇〇九年三月十日 発行

定価八〇〇円

日本文藝研究 第六十巻第三・四号

〒六六三八〇

西宮市上ヶ原一番町

関西学院大学日本文学会

(〇七九八五四一六二二八(直通))

編集兼 発行者 細川正義

発行所 日本文学会

〒六、五一〇、五、京都市右京区西院清水町一三

印刷所 協和印刷株式会社

TEL (〇七五) 三二一四〇一〇

FAX (〇七五) 三二一四〇一一

注文規定

御注文は前金にて関西学院大学日本文学会へ御願いたします。振替を御利用ください。（振替〇一五〇一七六〇八五）

一年分（送料共）三、〇〇〇円